

地域密着型金融の取組み事例（2022年4月～2023年3月）

【経営改善支援】

当金庫と取引がない企業に対する経営改善計画策定、及び経営改善支援

取組内容と成果（効果）

- ・ 個別支援先の内容（業種：水産物卸売業、資本金 21 百万円、従業員数 26 名）
当該企業は、近年業績が低迷し、連続赤字となっているものの、債務超過には陥っていない実態であった。
また、6 行の金融機関と取引があるものの、シェアが同等でメインバンクが存在していな状況にあった。
- ・ その中で取引金融機関 1 行より短期資金全額の返済を求められ、更に取引金融機関数行より、経営改善計画の策定要請を受けたが、策定支援の協力は得られなかった。
- ・ このことを代表者が知人へ相談したところ、当金庫企業支援部を紹介し、相談に至った経緯にある。
- ・ 当社からの要望は、返済を要請された短期資金の補填であったが、当金庫は当面の資金繰りに支障がないことから、経営改善に着手すべきと説明し、経営陣と一緒に改善計画の策定の伴走支援に着手した。
- ・ 現状分析や ABC 分析など、数値の見える化を行い、経営陣と課題を共有したうえで、改善策を協議。
また、ゼロゼロ融資が 2 年据置の 1 年払いであったことから、調達先である日本公庫と商工中金へ当金庫が交渉し、資本性劣後ローンの導入、ゼロゼロ融資の借換えを依頼。その協調金融機関として、当金庫が資金支援することとした。
- ・ 経営改善計画が完成し、当社と当金庫で各金融機関へ計画説明を実施、全行より同意を得たことから、当金庫も資金支援を実行、取引が開始となった。
この間約 6 ヶ月を要した。
- ・ 融資実行後も企業支援部による毎月モニタリングを行い、アクションプランの進捗、計画の達成状況等を確認。
- ・ その結果、計画 1 年目の実績は、達成率 100%と計画値と全くブレなく推移し、モニタリングは現在でも継続支援している。

連携先